

平成28年3月期
決算ダイジェスト

平成28年5月13日



平成28年3月期 決算ハイライト



【連結】 (百万円)

	27年3月期	28年3月期	前期比	増減率
経常収益	8,938	9,514	+ 576	+ 6.4%
経常利益	1,209	1,458	+ 248	+ 20.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	970	1,329	+ 358	+ 37.0%

【単体】 (百万円)

	27年3月期	28年3月期	前期比	増減率
経常収益	8,827	9,399	+ 571	+ 6.5%
コア業務純益	1,263	1,142	121	9.6%
経常利益	1,202	1,442	+ 240	+ 20.0%
当期純利益	963	1,313	+ 350	+ 36.3%

連結決算は、3期ぶりの増収増益となりました。

- ・ 経常収益 9,514百万円 (前期比 + 576百万円)
- ・ 経常利益 1,458百万円 (前期比 + 248百万円)

単体決算は、3期ぶりの増収増益となりました。

- ・ 経常収益 9,399百万円 (前期比 + 571百万円)
- ・ 経常利益 1,442百万円 (前期比 + 240百万円)

- ・ 連結自己資本比率は前期末比と同水準の8.56%となりました。
- ・ 不良債権比率(金融再生法開示債権比率)は前期末比0.93ポイント低下の5.46%となりました。

【自己資本比率(バーゼル)】

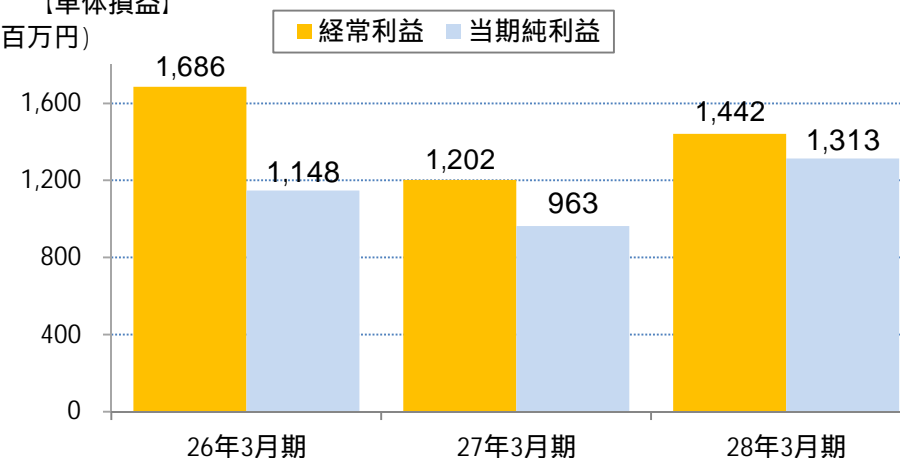
	27年3月末	27年9月末	28年3月末	前期末比
連結自己資本比率	8.56%	8.97%	8.56%	-
単体自己資本比率	8.51%	8.92%	8.56%	0.05%

【不良債権比率(金融再生法開示債権比率)】 (百万円)

	27年3月末	27年9月末	28年3月末	前期末比
金融再生法開示債権額	20,339	19,860	17,510	2,829
不良債権比率	6.39%	6.15%	5.46%	0.93%

【単体損益】

(百万円)



平成28年3月期 単体決算の概要



(単体) 損益概況

[単体]	(百万円)		
	27年3月期	28年3月期	前期比
業務粗利益	7,057	6,899	158
(除く債券関係損益)	7,042	6,804	238
うち資金利益	6,841	6,700	140
うち役務取引等利益	217	152	65
うち債券関係損益	15	95	+80
経費()	5,779	5,662	117
実質業務純益	1,278	1,237	40
コア業務純益()	1,263	1,142	121
一般貸倒引当金繰入額()	339	-	+339
業務純益	1,618	1,237	380
臨時損益	416	204	+621
うち株式関係損益	168	53	114
うち不良債権処理費用()	584	10	574
経常利益	1,202	1,442	+240
特別損益	130	58	+72
税引前当期純利益	1,071	1,384	+313
法人税等()	17	102	+84
法人税等調整額()	90	31	122
当期純利益	963	1,313	+350
与信関連費用()	175	175	351

コア業務純益 = 業務粗利益 - 債券関係損益 - 経費

業務粗利益（前期比 158百万円）
 ・貸出金利息の減少等に伴う資金利益の減少により、27年3月期比減少いたしました。

経費（前期比 117百万円）
 ・引き続き経費の圧縮に努め、物件費等の減少を主因として、27年3月期比減少いたしました。

コア業務純益（前期比 121百万円）
 ・経費の圧縮に努めましたものの、業務粗利益の減少等により27年3月期比減少いたしました。

与信関連費用（前期比 351百万円）
 ・不良債権処理費用は引き続き低水準となり、戻入益を計上いたしました。

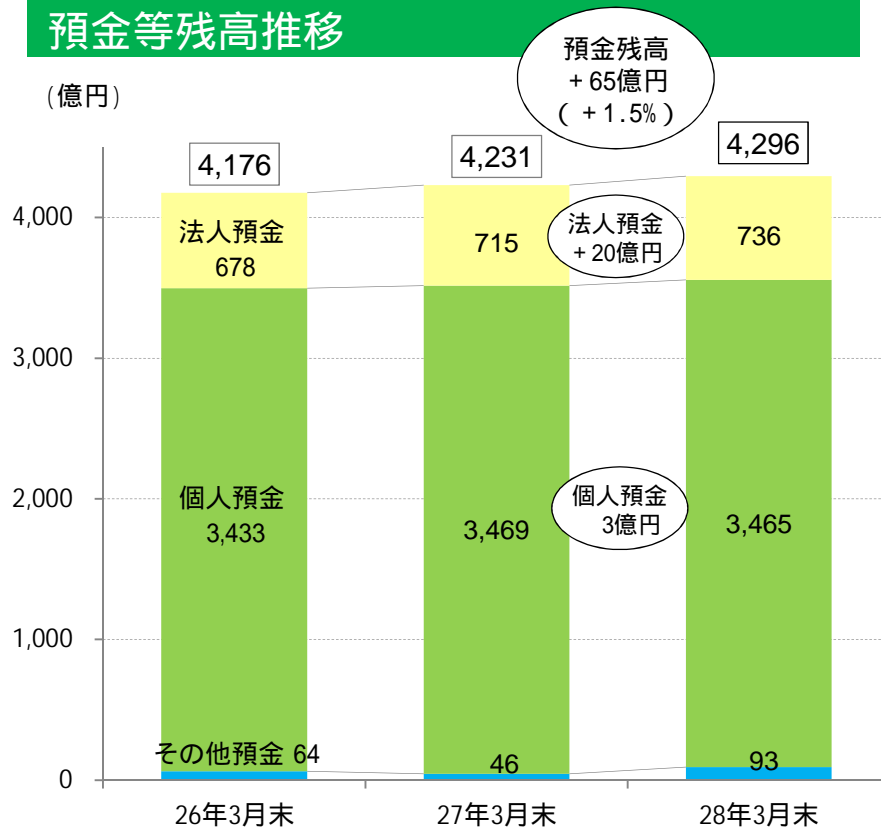
経常利益（前期比 +240百万円）
 ・コア業務純益が減少したものの、与信関連費用の減少により、27年3月期比増加いたしました。

当期純利益（前期比 +350百万円）
 ・経常利益の増加により、27年3月期比増加いたしました。

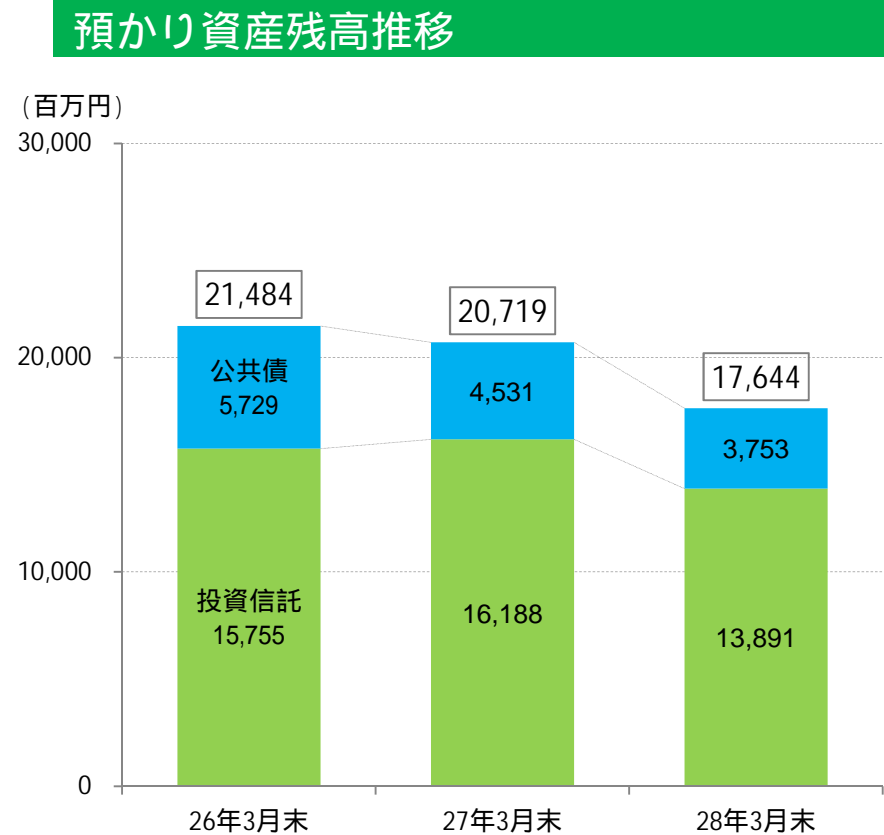
預金・預かり資産

- ・預金は、法人預金が増加したこと等により、27年3月末比65億円増加し、4,296億円となりました。
- ・預かり資産残高は、投資信託及び公共債残高がともに27年3月末比30億円減少し、176億円となりました。

預金等残高推移



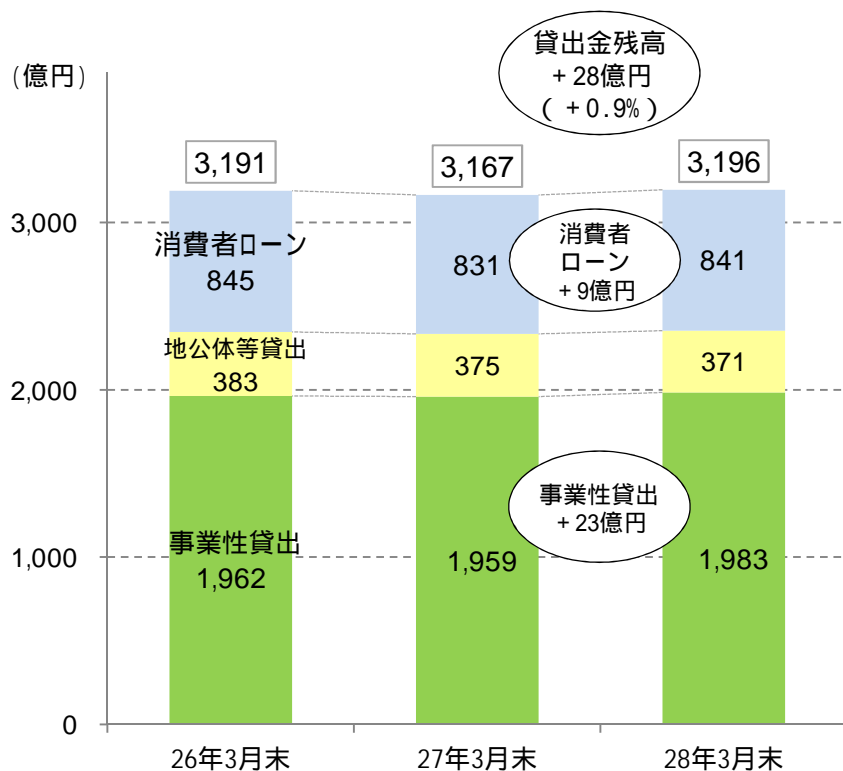
預かり資産残高推移



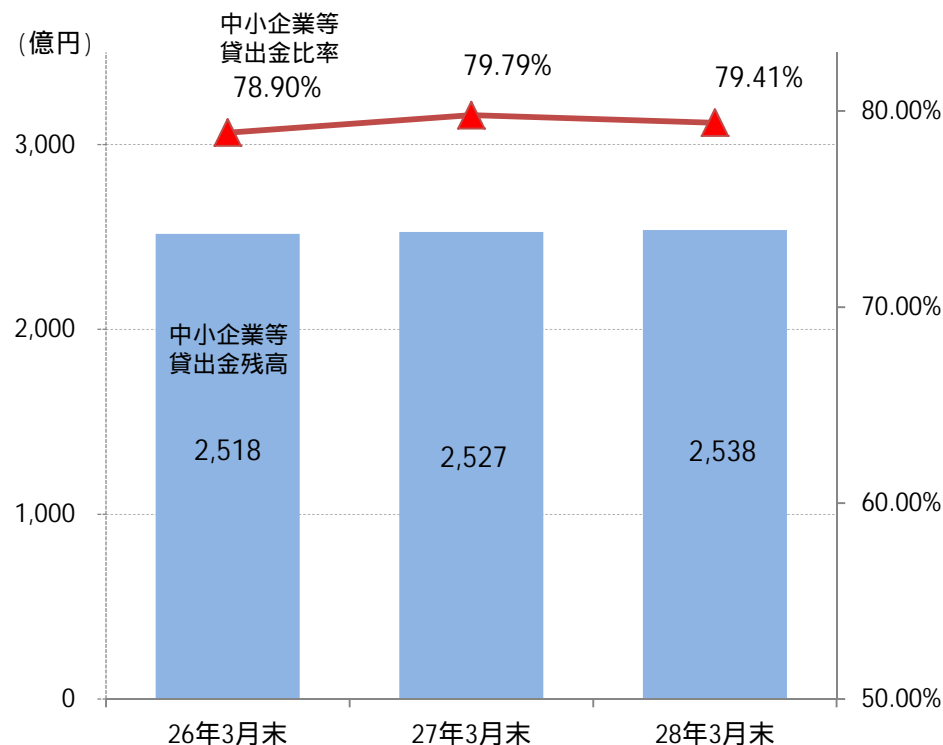
貸出金

- ・貸出金残高は、事業性貸出及び消費者ローンともに増加した結果、27年3月末比28億円増加し、3,196億円となりました。
- ・消費者ローンは、その他ローンが増加したことにより、27年3月末比9億円増加し、841億円となりました。

貸出金残高推移



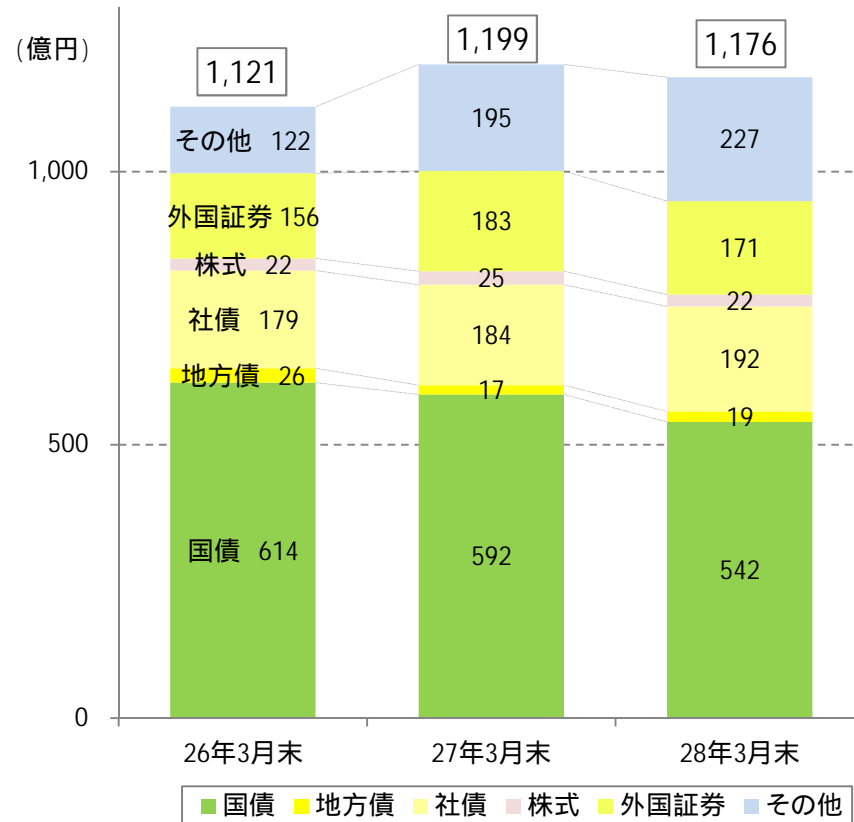
中小企業向け貸出金残高推移



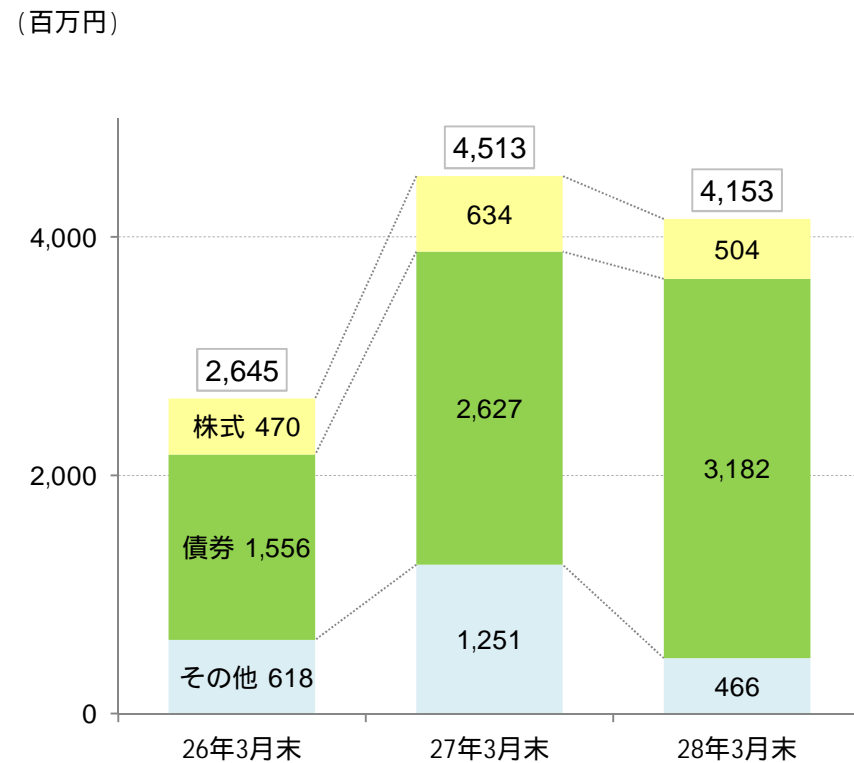
有価証券

・有価証券評価損益は、その他の評価損益が減少したことにより、27年3月末比3億60百万円減少の41億53百万円となりました。

有価証券残高推移



有価証券評価損益推移

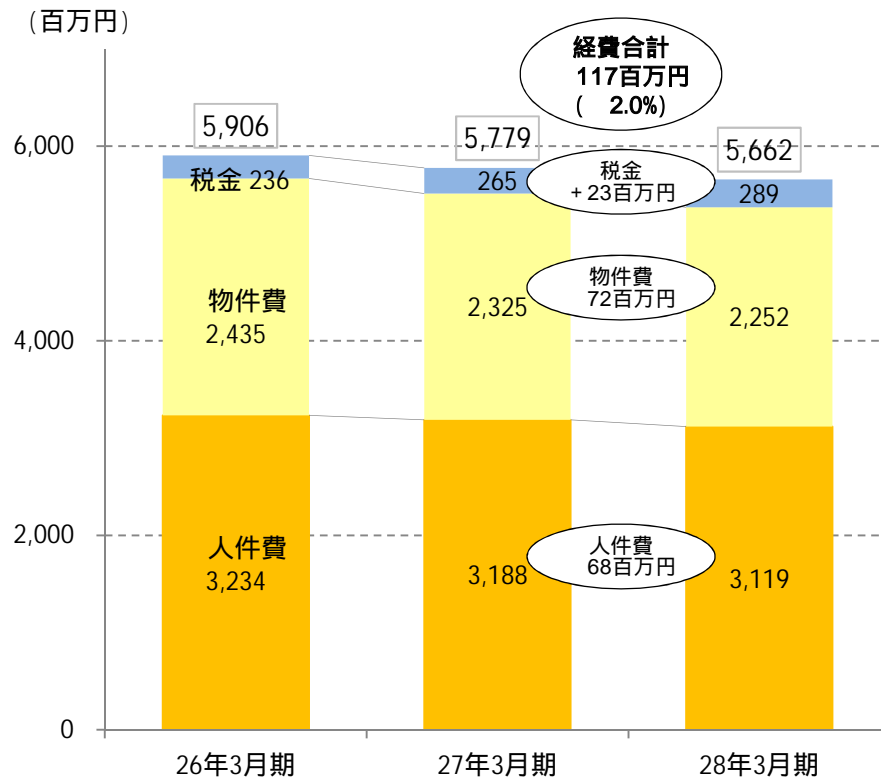


経費 / 不良債権の状況

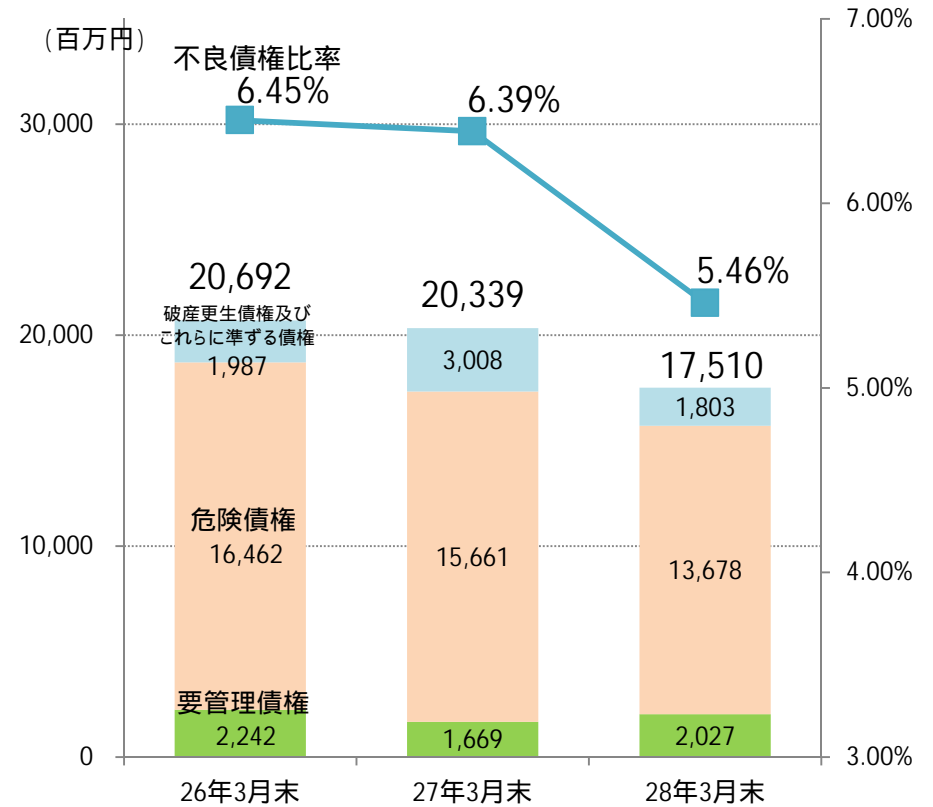
経費は、外形標準課税の増加により税金は増加いたしました
が、引き続き人件費および物件費の圧縮を図り、27年3月期比
1億17百万円減少し、56億62百万円となりました。

不良債権比率は、危険債権等が減少し金融再生法開示債権残高
が減少したことにより、27年3月末比0.93%低下し、5.46%となり
ました。

経費の推移



金融再生法開示債権の推移



平成29年3月期業績予想



【連結予想】

(通期) (百万円)

	28年3月期 (A)	29年3月期 (B)	前年度比 (B) - (A)
経常収益	9,514	8,620	894
経常利益	1,458	940	518
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,329	840	489

(中間期) (百万円)

	27年9月期 (A)	28年9月期 (B)	前年同期比 (B) - (A)
経常収益	5,669	4,260	1,409
経常利益	1,583	540	1,043
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,580	490	1,090

【単体予想】

(通期) (百万円)

	28年3月期 (A)	29年3月期 (B)	前年度比 (B) - (A)
経常収益	9,399	8,500	899
経常利益	1,442	940	502
当期純利益	1,313	840	473

(中間期) (百万円)

	27年9月期 (A)	28年9月期 (B)	前年同期比 (B) - (A)
経常収益	5,600	4,200	1,400
経常利益	1,568	540	1,028
中間純利益	1,565	490	1,075

連結経常収益

・有価証券関係損益の減少等により28年3月期比減収を見込んでおります。

連結経常利益

・与信関連費用の増加等により28年3月期比減益を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益

・連結経常利益の減少により28年3月期比減益を見込んでおります。

【1株当たり予想配当金】

1株当たり予想配当金

・1株当たり5円を期末配当として予定しております。

	年間	うち期末
配当予想	5円00銭	5円00銭